

現代キューバの国民生活～国民の不満を中心に解決策を考える～

関根 瑠星 (21911205rs@tama.ac.jp)

テーマ：現代キューバの国民生活～国民の不満を中心に解決策を考える～

問題関心：キューバは生活が豊かになると信じ、人々が社会主義を進めたが、資本主義国で経済大国でもあるアメリカと 1961 年に国交断絶したことにより、生活水準が悪化した。アメリカとの国交断絶から時間を経て、オバマ時代に国交回復に至ったが、トランプ政権時代に再び両国関係は悪化した。現在、キューバ国民の生活は、社会主義ゆえ医療費や学費は無償化であるが、生活費は高いわりに賃金は低い。そのため、貧困からの脱却を目指しての移住や亡命が後を絶たない。本稿はこのような状況を生んだ、キューバ政府の問題点を探りたいと考えた。キューバの未来への方向性を探る。

結論：本研究の結果、先の問題関心で提示したキューバの抱える問題を克服することは現時点では困難である。従って国民が満足する未来を形成することは近い将来には起こりえない。しかし、現状を維持したままキューバが存続し続けられるかどうかは懐疑的であり、思想や政治形態の変更までは要求できなくとも、一般国民の声に傾聴した政策を取り入れるべきである。そうでなければこのまま情勢不安が続き、コロナ禍で発生したデモ以上の抗議やストライキが発生することも十分想定しうる。そうなった場合、キューバの情勢不安が他の南米諸国へ派生することも予想できる。